

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.9 2011年9月4日



田老ベースが始動

被災地支援の拠点となる一軒家を田老地区に新たに借りることができました。部屋が多数あり、大人数の宿泊にも対処できます。早速、全国から駆けつけた50名ほどの方々が集合。ここから被災地での活動に遣わされて行きました。(裏面記事参照)

旅館のご主人と再会

二ヶ月間に渡り被災地支援の拠点として用いさせていただいた宮古の旅館を久しぶりに訪問。ご主人との再会を喜びました。旅館は改修工事を無事に終え、営業を再開しています。震災後の絶望的な状態から、営業再開までの復興の歩みを、しみじみと振り返ったひと時でした。



支援は世界中から

被災地に駆けつけて下さっているのは日本の方々だけではなく。アメリカ、香港、台湾など外国の方々も多数駆けつけ、ご奉仕下さっています。8月は多くの韓国の方々も岩手の被災地で活動して下さいました。



築かれた信頼関係の中で

「こういう時、クリスチャンの方はどう考えるのですか？」 地域の方から、こんな質問が投げかけられました。築かれてきた信頼関係の中で、証しや祈る光景が少しずつ見られ始めています。人々の必要は物質的なものから、精神的、霊的なものに次第に変化してきているようです。



被災地支援活動報告

8月9日(火) 陸前高田

渋谷福音教会と水沢聖書バプテスト教会の混成チーム7名で陸前高田を訪問しました。7月に聖書宣教会のチームが訪ねて下さった米崎小学校前仮設住宅を再度、訪問。そうめんやお米などを配布しました。渋谷の教会の方々が用意して来て下さった裁縫セット、生活用品、布などは人気が高く、あっという間になくなってしまいました。また前回知り合ったお二人のご婦人を訪問し、再会を喜びました。その後、ネットワークのつながりから得た情報をもとに、陸前高田在住のフィリピンのご婦人を訪ね、布団や赤ちゃん用品などを届けました。大船渡・陸前高田地域にはフィリピンから結婚のために来られたご婦人たちが多くおられ、今回の震災をきっかけにグループが結成されたそうです。(若井和生)

8月10日(水) 田老

主が備えて下さる道は、いつも私たちの思いをはるかに超えるなり。

被災地での支援活動が続けるにあたり、これまで何度も直面して来た最大の必要の一つは「拠点」となるベースキャンプの問題。最初期の2カ月間に備えられた「お〜いの旅館」。その後、OMFの拠点を間借りしたり、商工会議所の空き部屋を使わせて頂いたり、ということが続けて来ましたが、本格的な夏を迎え、各地からのボランティアの申し出が寄せられ続ける中、新しい拠点の確保が急務とされていました。

そんな折、大塚牧師のつながりを通し、滑り込みで田老地区に借りることが出来た新しいベースキャンプが昨日から本格始動。早速そこに今週宿泊する人数は…約50名。何ともジャストのタイミングで必要が備えられ、始まった共同生活の様子はまるでキャンプ？聖会？のようでもあり。

今日もまた備えられた「拠点」から、いくつかの活動にチームが遣わされて行ったはずです。その一つ一つの働きを通し、仮設住宅に住む方々に、在宅避難の方々に、学童保育の子どもたちに、希望が届けられていきますように。(近藤愛哉)

8月に支援活動に従事して下さった諸団体

同盟基督教団、東京ぶどうの樹キリスト教会、韓国サードベース、ホクミン(北海道クリスチャン・ミッション・ネットワーク)、OMF、IBF、テキサス学生チーム、戸倉キリスト教会(長野)、3・11あおもり教会ネットワーク、JEGA南関東地区、酒匂キリスト教会(神奈川)、行田カベナント教会(埼玉)、長岡聖契キリスト教会、台湾カベナント教会、生田丘の上教会、西上尾福音教会、カルバリーバプテスト豊田キリスト教会、小山聖書バプテスト教会、クラッシュ・ジャパン、バプテスト教会連合、DRC ネット、渋谷福音教会、キャンパス・クルセード、カリタス・ジャパン、釜石新生教会、宮古コミュニティチャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会(その他、多くの方々が個人としてチームに合流し、支援活動にあたって下さいました。)

一つ一つのご奉仕に、心から感謝致します。